

## FDISK・Dドライブ復元・リストア手順

### FDISK・リストア作業を実施される前に

- 作業にあたり、以下のものをお手元にご準備下さい。  
「Quick Restore」と記載のある紺色の CD-ROM(クイックリストア CD、またはリストア CD と呼びます)  
出荷時 D ドライブ イメージ復元用 CD-ROM
- 周辺機器 (ハードディスク、メモリ、LANカードや SCSIカード等)を増設している場合、リストアが正常に終了しない場合があります。リストア作業をする場合は周辺機器を取り外してから作業を実施して下さい。
- リストアを実施するとハードディスク内のデータは全て消去されますので、ご注意下さい。作業前に必ずデータのバックアップをお取り下さい。

### 再起動の方法について

- コンピュータを再起動する場合は、キーボードから[Ctrl]+[Alt]+[Del]キーを同時に1度押します。
- この操作を数回繰り返しても再起動しない場合、コンピュータの電源ボタンを4秒以上押し続けることで電源を落し強制終了することができます。強制終了後は10秒以上経過してから電源を入れ起動して下さい。

-----以下作業手順-----

## 1. 出荷時のリソースへ戻す設定 (セットデフォルト)

目的 :ハードウェアの設定を出荷時の状態に戻します。

電源を投入後、「COMPAQ」のロゴ画面でキーボードから[F10]キーを数回押します。  
画面に「Setup Confirmation Save configuration changes...」と表示された場合、  
キーボードの [ ] キーにて[No]を選択し、[Enter]キーを押します。  
「PhoenixBIOS Setup Utility」の画面が表示されます。[F9]キーを押します。  
「Load default configuration now?」と表示されます。[Enter]キーを押します。  
[F10]キーを押します。  
ここでQuick Restore CDをドライブに入れて下さい。  
「Save configuration changes and exit now?」と表示されます。  
[Enter]キーを押すと、自動的に再起動します。

## 2. FDISKコマンドによる領域の確認と削除

目的 現在のハードディスク領域の確認と削除をします。

Quick Restore CD が入ったまま再起動し、「ようこそ」という青い画面が表示されます。[Esc]キーを押します。  
MS-DOS プロンプト画面に「A:\CPQS\TOOLS>」と表示されます。  
「A:\CPQS\TOOLS>」の後に続けて **fdisk** と入力し、[Enter]キーを押します。  
アルファベットの入力は、大文字/小文字どちらでも構いません。  
「Do you wish to enable large disk support(Y/N).....? [Y]」の表示がでますので、[Enter]キーを押します。  
次の画面が表示されます。

### FDISK Options

Current fixed disk drive :1  
Choose one of the following :

1. Create DOS partition or Logical DOS Drive
2. Set active partition
3. Delete partition or Logical DOS Drive
- 4. Display partition information**

Enter choice : [ ]

ここでキーボードから[4]キーを押し[Enter]キーを押すと、次のハードディスクの領域情報を確認する画面が表示されます。各 Partition(パーティション)の Mbytes(ハードディスク容量)、Usage(パーセンテージ)を確認します。尚、ご使用の機種によっては数値が異なる場合があります。次の画面が表示されます。

### Display partition information

Current fixed disk drive :1

Partition	Status	Type	Volume Label	Mbytes	System	Usage
C:1	A	PRI DOS		3595	FAT32	87%
2		EXT DOS		532		13%

Total disk space is 9539 Mbytes (1 Mbytes = 1048576 bytes)

工場出荷時のハードディスクの領域は、上記のとおりパーティションが2つに分かれています。

Usage(パーセンテージ)は上段87%、下段13%と表示されます。この数値が明らかに異なる場合、または、C:1しか表示されていない場合は、下記 からの操作を進めることができない場合があります。その場合は作業を一旦中断し、プレサリオサポートセンターにお問い合わせ下さい。

[Esc]キーを押します。次の画面が表示されます。

### FDISK Options

Current fixed disk drive :1  
Choose one of the following :

1. Create DOS partition or Logical DOS Drive
2. Set active partition
- 3. Delete partition or Logical DOS Drive**
4. Display partition information

Enter choice : [ ]

ここでキーボードから[3]キーを押し[Enter]キーを押します。次の画面が表示されます。

### Delete DOS Partition or Logical DOS Drive

Current fixed disk drive :1  
Choose one of the following :

1. Delete Primary DOS Partition
2. Delete Extended DOS Partition
- 3. Delete Logical DOS Drive(s) in the Extended DOS Partition**
4. Delete Non-DOS Partition

Enter choice : [ ]

ここでキーボードから[3]キーを押し[Enter]キーを押します。次の画面が表示されます。

Delete Logical DOS Drive(s) in the Extended DOS Partition				
Drv	Volume Label	Mbytes	System	Usage
D:	SYSTEM_SAVE	532	FAT32	100%

WARNING! Data in a deleted Logical DOS Drive will be lost.  
What drive do you want to delete .....? [ ]

- 1 Volume Label (ボリュームラベル)の欄は表示されない場合があります。
- 2 MbytesとUsageは機種や状況により異なる場合があります。

ここでキーボードから[D]キーを押し[Enter]キーを押します。次の画面が表示されます。

Enter Volume Label .....? [_____]
-----------------------------------

DドライブのVolume Labelに表示されている文字を入力し、[Enter]キーを押します。次の画面が表示されます。  
例： の画面が表示されている場合は、[SYSTEM\_SAVE]と入力し、[Enter]キーを押します。  
「\_」(アンダーバー)入力するには、[Shift]キーを押しながら、[る]キーを押します。

Are you sure (Y/N) .....? [ ]
-------------------------------

ここでキーボードから[Y]キーを押し[Enter]キーを押します。その後[Esc]キーを2回押すと、次の画面が表示されます。

FDISK Options	
Current fixed disk drive :	1
Choose one of the following :	
1. Create DOS partition or Logical DOS Drive	
2. Set active partition	
<b>3. Delete partition or Logical DOS Drive</b>	
4. Display partition information	
Enter choice :	[ ]

ここでキーボードから[3]キーを押し[Enter]キーを押します。次の画面が表示されます。

Delete DOS Partition or Logical DOS Drive	
Current fixed disk drive :	1
Choose one of the following :	
1. Delete Primary DOS Partition	
<b>2. Delete Extended DOS Partition</b>	
3. Delete Logical DOS Drive(s) in the Extended DOS Partition	
4. Delete Non-DOS Partition	
Enter choice :	[ ]

ここでキーボードから[2]キーを押し[Enter]キーを押します。次の画面が表示されます。

Do you wish to continue (Y/N) .....? [ ]
--

ここでキーボードから[Y]キーを押し[Enter]キーを押したあと、[Esc]キーを押します。次の画面が表示されます。

<b>FDISK Options</b>
Current fixed disk drive :1 Choose one of the following :
1. Create DOS partition or Logical DOS Drive 2. Set active partition <b>3. Delete partition or Logical DOS Drive</b> 4. Display partition information
Enter choice : [ ]
WARNING! No partitions are set active – disk 1 is not startable unless a partition is set active

ここでキーボードから[3]キーを押し[Enter]キーを押します。次の画面が表示されます。

<b>Delete DOS Partition or Logical DOS Drive</b>
Current fixed disk drive :1 Choose one of the following :
<b>1. Delete Primary DOS Partition</b> 2. Delete Extended DOS Partition 3. Delete Logical DOS Drive(s) in the Extended DOS Partition 4. Delete Non-DOS Partition
Enter choice : [ ]

ここでキーボードから[1]キーを押し[Enter]キーを押します。次の画面が表示されます。

What primary partition do you want to delete . . . . .? [ 1 ]
---

[1]と表示されていることを確認し、そのまま[Enter]キーを押します。Volume Label入力の画面になります。

Enter Volume Label . . . . .? [ ]
-----------------------------------

CドライブのVolume Labelに表示されている文字を入力し[Enter]キーを押します。次の画面が表示されます。

Volume Labelの欄が空白の場合、入力する必要はありません。空欄のまま[Enter]キーを押します。

Are you sure (Y/N) . . . . .? [N]
-----------------------------------

キーボードから[Y]キーを押し[Enter]キーを押したあと[Esc]キーを3回押します。「A:\CPQS\TOOLS>」の画面に戻ります。

Quick Restore CDをドライブに入れたままの状態、[Ctrl]+[Alt]+[Del]キーを同時に押し、コンピュータを再起動します。

### 3. Quick Restore CDによる領域の復元

目的 :Quick Restore CD を使用し、ハードディスクのパーティションの割り当てを出荷時の状態に戻します。

Quick Restore CD が入ったまま再起動し、「ようこそ」という青い画面が表示されます。[Enter]キーを押します。

「ハードディスクの領域作成」の画面が表示されますので、[Enter]キーで先に進みます。

MS-DOS 画面にて、「Verifying drive integrity, XX% complete.」が数回表示され、100%になるまで進みます。(この表示は数回繰り返されることがあります)

自動的に再起動します。

### 4. FORMAT コマンドによるハードディスクの初期化

目的 :ハードディスクを利用可能な状態にします。

Quick Restore CD が入ったまま再起動し、「ようこそ」という青い画面が表示されます。[Esc]キーを押します。

MS-DOS 画面にて「A: \ CPQS \ TOOLS> 」と表示されます。C ドライブのフォーマットを行ないます。

「A: \ CPQS \ TOOLS> 」の後に続けて **format c: /u** と入力し、[Enter]キーを押します。

はスペースキーを表します。入力は、大文字/小文字どちらでも構いません。

「WARNING,... Proceed with Format(Y/N)?」と表示されます。キーボードから [Y] キーを押し[Enter]キーを押します。

フォーマットが開始されます。0% ~ 100%まで数値が進みます。

フォーマットが完了すると、Volume label の入力を促す画面が表示されますが、何も入力をせず空白のまま [Enter] キー を押します。「A: \ CPQS \ TOOLS> 」の状態に戻ります。

次に、D ドライブのフォーマットを行ないます。

「A: \ CPQS \ TOOLS> 」の後に続けて **format d: /u** と入力し、[Enter]キーを押します。

C ドライブのフォーマット時と同様の操作を行ないます。手順は上記 ~ 迄の作業をもう一度行ないます。

D ドライブのフォーマットが完了しましたら、ここでいったん Quick Restore CD をドライブから取り出します。代わりに Presario 1246 出荷時 D ドライブ イメージ復元用 CD-ROM を挿入し、[Ctrl]+[Alt]+[Del]キーを同時に押し、コンピュータを再起動します。

### 5. D ドライブ イメージ復元用 CD-ROM による D ドライブの復元

目的 D ドライブの領域に出荷時のイメージを復元します。

D ドライブ イメージ復元用 CD-ROM が入ったまま起動しますので、以下のメッセージが表示されます。キーボードから任意のキーを押します。

-----  
D:ドライブに PRESARIO 1246 の出荷時のイメージを復元します。  
(途中中止の場合には、Ctrl + C を押して下さい。)

-----  
D: ドライブに出荷時状態に戻します。  
続けるにはどれかキーを押して下さい。 . . .

続いて、「本当に良いですか?」と確認のメッセージが表示されます。再度任意のキーを押しますと、処理が開始されます。

しばらくすると処理が完了し、「完了しましたので、QuickRestore CD からリストアを行って下さい。」とメッセージが表示されます。

Dドライブ イメージ復元用CD-ROMを取り出し、Quick Restore CDを挿入し、[Ctrl]+[Alt]+[Del]キーを同時に押し、コンピュータを再起動します。

上記手順実行時に、Dドライブに出荷時のイメージが残っている場合には、「D: ドライブには D:¥CPQDRV が存在していますが続行していいですか?」とメッセージが表示されます。

Dドライブ内にデータのバックアップを行っている場合にはこの時点で[Ctrl] +[C]を押し操作を中止して下さい。継続すると全て上書きとなり、バックアップされたものは保証されません。

## **6.Quick Restore CD による復元**

目的 :Quick Restore CD を使用し、出荷時のイメージをハードディスクに書き込みます。

Quick Restore CD が入ったまま再起動し、「ようこそ」という青い画面が表示されます。[Enter]キーを押します。「クイックリストア セットアップ処理中」の表示の後、「重要事項」画面が表示されます。[Enter]キーを押します。「クイックリストア セットアップ処理中」の表示の後、「QuickRestore Option Menu」画面が表示されます。

[1.1 枚 CD の復元]を選択するため、キーボードから[1]キーを押します。

「工場出荷時のイメージをシステムセーブ領域にコピーしています」の画面が表示されます。自動的に Quick Restore CD がドライブより出てきます。

「クイックリストア CD をCD/DVD ドライブに挿入してください」というメッセージが表示されます。ここでまた Quick Restore CD をドライブにセットし、[Enter]キーを押します。

なお、この時に「バックアップファイルが見つからないか、壊れています。System Save から復元を行いますか (Y/N)」と表示されることがあります。表示された場合、[N]を選択し先に進めます。

「QuickRestore」の画面が表示されます。パーセンテージが進み、システムの復元作業が開始されます。復元作業完了後、自動的に再起動します。Quick Restore CD をドライブのトレイより取り出します。

しばらくすると、Windows が起動します。画面右上に「OEM リセットリマインダ」が表示されることがありますが、その状態では、何も作業を行わないでください。その後、「COMPAQ QuickRestore」の画面が右上に表示され、作業は自動的に進んで行きます。作業完了後、自動的に何度か再起動します。

Windows 起動前に、「ファイルが見つかりません。 - C:\CPQDRV \ \*. \*」と表示がされることや、一部文字化けした文章の表示がされることがありますが、問題はありません。

この作業にはかなり時間を必要とします。

いくつかの画面表示とともに自動的に進行していきますので、そのまましばらくお待ち下さい。

再起動後、Windows 98 のセットアップウィザードの画面になります。これでリストア作業の完了になります。画面の指示に従って、個人情報等の再設定を行って下さい。

以上